

2010年3月議会（2）武井市政1回目の一般質問 に対する執行部答弁・武井2回目の質問 （2010年03月12日掲載）

1回目の質問に対する執行部答弁要旨

坂戸市財政健全化のための計画及び中期財政計画等について

（伊利市長）

- ・ここを転換始点として、市のすべての事務作業を、効率的で効果的な仕組みに改善。
- ・福祉、教育などの分野は見直しの影響を必要最小限に。
- ・市民への、情報提供に努める。
- ・市民の理解と協力が不可欠。計画を広く公開することは、重要。
- ・機会をとらえて説明する。

新しい公共交通のあり方について

（中島副市長）

- ・時代とともに、さまざまな目的が伝わり、公共交通本来の効果が得にくくなっている。
- ・赤字補てん方式が、市の財政に及ぼす影響も看過できない。
- ・交通弱者の移動の権利保障、環境負荷の少ない公共交通体系の整備が必要。
- ・ゼロベースで、公共交通のあり方を検討。
- ・交通基本法は「国民の移動の権利」保障、新時代の総合交通体系確立のため。
- ・本市にとっても重要な制度、考え方。国の動向を十分注視し、対応。

今、求められている学力について

（横田教育部長）

- ・第1回の対象学年児童が、今年中3になるので結果を比較できる。
- ・来年度は実施。その後の実施は、国の動向を踏まえつつ検討。
- ・学力とは基礎的な知識・技能、思考力、判断力、表現力、主体的に学習に取り組む態度
- ・関心、意欲、態度は重要な要素。
- ・結果概要、改善策は昨年10月1日にホームページで公開。
- ・（本市の児童、生徒は）思考力、判断力、表現力に課題。
- ・学力と、学習時間、自尊意識、社会への興味・関心、家庭でのコミュニケーションとは正の相関関係。

- ・懸念される問題は、本市においては特にはない。生じないように校長会等を通じて指導。
- ・採点、分析は教育センター、指導主事。
- ・計画的に実施して、授業時数は確保。
- ・生徒、保護者に評価の観点について十分に説明。
- ・環境学館「いずみ」を活用した環境教育は大いに意義のある教育活動。

武井、2回目の質問

2回目の質問を行います。

まず、財政健全化のための計画などについて再質問します。

市民の理解と協力の重要性について、認識を共有できました。

具体的に2点再質問します。

1点目。行政改革アクションプランに対する意見募集については、周知の仕方が不十分で「市民の意見は聞かなかったと言わせないためのアリバイ作り」のようだという声が、私のところに寄せられています。行政改革アクションプランへの、周知、意見集約の状況、今後のその活かし方について質問します。

2点目。市では、現在、このほかにも様々な計画や、プランが作られようとしています。先日地域福祉計画策定にかかわる第1回地区別懇談会ワークショップ結果一覧表を、読ませていただきましたが、市民の切実な声が寄せられていました。貴重な資料であり、所管の部・課の枠を超えて生かされて行くことが大切であると感じました。

そこで質問ですが、市の様々な計画、たとえば地域福祉計画、アクションプランと財政健全化計画、総合振興計画の関係を、質問します。

次に新しい公共交通のあり方について再質問します。

鶴ヶ島市、毛呂山町、鳩山町など近隣の市町でも、公共交通について新しい動きがあります。

私のところへも様々なアイデアが寄せられています。停留所、ルート等の見直しに加えて、たとえば、鉄道、路線バスとの連絡・乗り継ぎ、デマンドバス、乗り合いタクシー、市内商店街・スーパーなどとの連携、(フランスではこれをベリブというそうですが)公共貸し出し自転車の設置、などなどです。

そこで質問ですが

第一に、新しい公共交通について、どのようなプランを持っているか、質問します。

第二に、こういった市民、事業者との連携や市民のアイデアを生かす方策についてどう考えておられるか質問します。

次に教育行政、まず学力学習状況調査について何点が再質問します。

一つ目、学習時間、自尊意識、社会に関する興味関心、家庭でのコミュニケーションと学力が正の相関関係にあるなどということは、全国学力・学習状況調査結果を分析するまでもなく、経験的にわかっていたことと考えます。思考力、判断力、表現力に課題があるということも、日々の授業の中でわかることではありませんか。むしろ、テストを繰り返すことで課題を深刻化させているとさえ言えると思いますが、いかがですか。

二つ目、少なくとも結果の数字やデータを、児童・生徒を追い詰め、学習意欲をそぐことに、つなげない配慮が必要と考えますが、見解をお伺いします。

三つ目、教育センターには、他にやっていただきたいことがたくさんあるのですが、学力テストにかかわる業務で、他の業務への影響がないか、質問します。

四つ目、以上の質疑を踏まえた学力調査に対する現時点での教育委員会の見解を改めてお伺いします。

次に環境学館いずみについて。

環境教育プログラムのパンフレットを、読ませていただきましたが、よく出来ていると思いました。また、小中学生だけでなく大人も含め、さらに多くの市民に広がることを期待するものです。そこで

環境学館いずみの利用状況、特に小中学生の利用状況について質問します。

以上を2回目の質問とします。